



校長室だより

令和8年度

4月17日

NO. 2

いつまでも止まっていられない。新たな一歩が、新たな未来を…!

「クリエイティブなアウトプットのできる人の頭の中には、常にこの『もっと』『ほかに』があります。それがより深い思考をもたらし、問題の解決につながっていくのです。」
『自分と問うということ』(リベラル新書 齋藤 孝著)



サポーターの方からの思いを聞いた委嘱式



懐かしい先生と出会えた退任式



秦梨の藤棚の藤の花が、白く可憐に咲き誇っています。春の訪れを待っていたかのように、冬の間をじっとしていた黒々としたハチたちは、一心不乱に蜜を吸いに飛び回ります。ここにもいつもの秦梨の春が巡ります。

四月は出会いの時期でもあり、別れの時期でもあるといえます。そして、退任式は変わっていかれる先生方の大きさを改めて感じる場でもあり、皆が新しい環境で頑張っている決意する場でもあります。自分自身も、これまで幾度も学校を変わる機会がありました。自分自身も、これまで幾度も新しい考えや認識、価値観にふれる大切な場でもあり、それはよりよく成長していくために必要な機会でもあります。

現在、稲垣教頭先生は岡崎小学校で、支援学級の子たちの担任をしています。小菅先生は竜美丘小学校という大きな学校で、学年主任を担っています。また、仕事で三島小学校に行くと、校長先生からは頑張っている橋村先生の話も聞きます。それぞれ環境で、力を発揮されている先生方の話を聴くと、改めて自分たちも頑張らなければと強く思います。

同じ日に、ふるさと学習サポーターの四名の先生方への委嘱式が行われましたが、先生方からは今年の「ふるさと学習」に向けた思いが語られました。そこには、これまで通り行うだけでなく、子供たちによりよく、バージョンアップしていったほしいという思いが込められていました。変化の大きな時代にこれまで通り行うことは退化とされます。新たな年、新たな場所、思いを新たに一歩一歩、歩んでいきたいものです。

- ・ 今回の異動で5名の教職員が変わりました。教頭の稲垣裕子先生は岡崎小学校へ、小菅寿弥先生は竜美丘小へ、給食配膳員の後藤さんは豊富小に、STの片山先生、通級の鈴木先生も変わられました。
- ・ 本年度も秦梨小のふるさと学習サポーターを、鈴木宜行様、川澄善久様、畔柳浩司様、粟生恒夫様をお願いいたしました。稲作のこと、山仕事のことを学びます。よろしく願いいたします。
- ・ 18日には今年度最初の授業参観があります。子供たちの頑張る姿をご覧ください。参観授業後、PTA総会が行われます。事前にお配りした要項をお持ちください。よろしく願いいたします。